

佐賀大学生のみなさんへ

アンケートなどで寄せられたご意見等について回答します。
いただいたご意見、ご要望は大学における業務改善に役立てます。

令和5年度後学期及び令和6年度前学期の各種学生向けアンケートからの学生の声を受けて改善等を行いました！

ウォーターサーバーの設置



佐賀大学に給水スポットを設置し、
マイボトル利用を増やしたい！
（「佐賀 SDGs グローカルアクションⅡ」地域循環共生圏 in 佐賀チーム
より提案）



「学生談話室にウォーターサーバーを
設置することについて」のアンケート
を実施した結果、100票以上の設置希
望の意見があった。是非導入を検討し
てほしい。（佐賀大学経済学部ゼミナ
ール連合会より提案）

ここを改善しました！

令和5年12月に教養教育1号館1階学生ホールに、令和6年9月には
経済学部1号館学生談話室にウォーターサーバーを設置しました。現在多
くの学生さんが利用しています。（[学生談話室にウォーターサーバーを設
置しました | 佐賀大学経済学部 \(saga-u.ac.jp\)](#)）

大学会館 2 階の女子トイレの改修

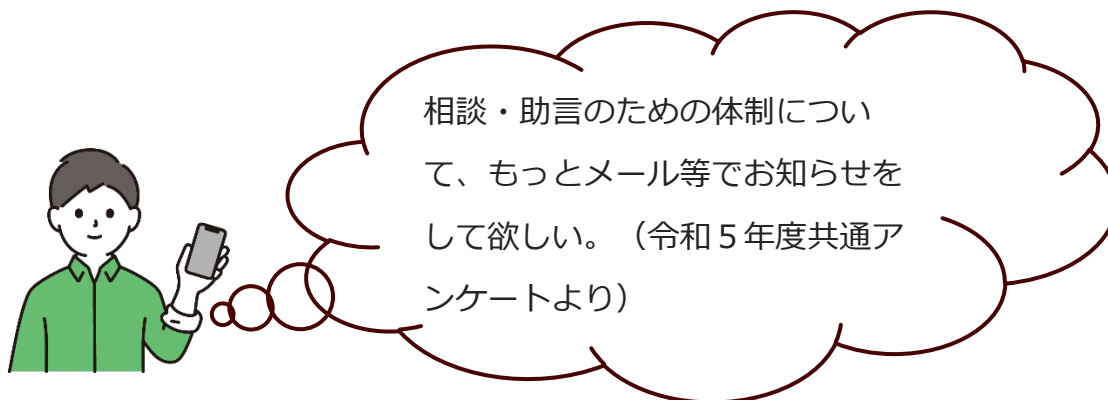


大学会館 2 階の女子トイレが流れにくい、右側の水道の水の出方が強すぎる。（「令和 5 年度学生生活実態調査」より）

ここを改善しました！

大学会館 2 階の女子トイレの水の流れに関する問題を確認し、皆さんが安心して利用できるように修理しました。現在は問題なく利用いただけます。

アンケートに寄せられた、学生支援に関する疑問、要望について、状況を回答します。



佐賀大学では以下の相談・助言体制を整えています！

●＜進路に関する相談・助言体制について＞

ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門では就職相談や就職支援情報について、就職活動のスケジュールに合わせて対象となる学生に向けてメールでお知らせしています。

そのほか、キャリア支援部門公式 Teams で相談予約状況のほか、就職活動に役立つ情報を発信していますので是非ご活用ください。

[学内 SNS\(Teams\)](#) | [佐賀大学キャリアセンター](#)

●＜健康に関する相談・助言体制について＞

保健管理センターの学生相談室は「学生の身体・精神面の健康上の問題」について相談を希望する学生のために設けられたもので、いつでも相談できます。

[相談窓口](#) | [佐賀大学保健管理センター](#)

●＜各種ハラスメントに関する相談・助言体制について＞

保健管理センター、学生センター及び各学部等に相談員を配置していますので、気軽に相談してください。

[ハラスメント防止について](#)



就職活動に対する支援をもっとして
ほしかったと感じた。（令和5年度
共通アンケートより）

佐賀大学ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門では、以下の就職支援を行っています！

●〈就職ガイダンス〉

エントリーシートの作成講座や面接対策等、様々なテーマの就職関連セミナーやイベントを実施しています。詳細については以下から確認してください。

[就職ガイダンス | 佐賀大学キャリアセンター](#)

●〈個別会社説明会〉

採用広報活動解禁後の3月から7月の間にかけ、翌年の卒業生を対象として個別の会社説明会を学内で開催しています。詳細については以下から確認してください。

[個別会社説明会《在学生のみなさまへ》 | 佐賀大学ウェルビーイング創造センターキャリア支援部門](#)

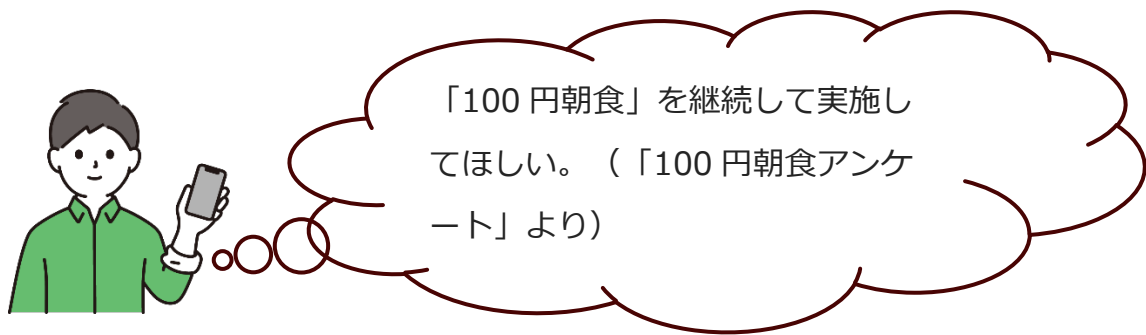
●〈就職相談〉

就活について何から考えればよい？自分って何をやりたいんだろう？自己分析ってどうやるの？といった、まだ自分の就活が形になる前の悩みから、面接練習をしたい、履歴書の添削をしてほしい、求人情報を見たいなどのご希望まで、一人一人のステップに応じた相談を対面・オンラインで受け付けています。

民間企業就職希望者だけでなく、教員や公務員を志望する学生さんも対象です。

もちろん学年・学部・学科は問いませんのでお気軽にご相談ください。詳細については以下から確認してください。

[就職相談 | 佐賀大学キャリアセンター](#)



継続を希望する学生からの多くの声にお応えし、令和 6 年度も 100 円朝食、100 円昼食を実施しました！

令和 5 年度後期から学生支援の一環として、在学生に向け本庄キャンパスのかささぎ食堂では「100 円朝食」、鍋島キャンパスの医学部食堂では「100 円昼食」を提供しています。朝食を摂る習慣や、栄養バランスに配慮した食事を摂る等、食生活を改善して元気に大学生活を過ごしてもらうことを目的としています。

また、物価高騰の中で経済支援の意味合いもあり、学生さんの負担を 100 円とし、朝食及び昼食定価との差額を大学が負担しています。

非常に好評のため、令和 6 年度も継続して実施しました。令和 7 年度も実施する予定です。